

# 第 14 回定時総会報告

日 時：2015 年 5 月 30 日（土）15：30～17：30

会 場：西宮市民会館（アミティホール）3F 中会議室 301

## I. 開催報告

今総会における CAP センター・JAPAN 正会員数は 89(団体正会員 84、個人正会員 5)、定足数 45 のところ、表決権数は 80（当日出席 30、書面による出席 50）でした。当日は 30 団体 41 人の方が参加されるなか、第 14 回定時総会が行われました。

議長には坂田恭子さん（CAP しまもと/大阪府）、議事録署名人には、足立淳子さん（ふくちやま CAP/京都府）、宮原久美子さん（CAP 西京/山口県）が選任されました。

今回の運営にあたっては、複数名ご出席いただいた団体正会員から大野清子さん（CAP くれよん/埼玉県）、奥井直美さん（CAP おかやま/岡山県）に、表決カウントの補助をお願いしました。皆さまのご協力によって総会運営を行うことができました。ありがとうございました。

議案は全て承認されました。しかしながら、メールマガジン号外（6 月 1 日）で概略をお知らせしましたように、新年度のスタートを切る大切な総会審議にも関わらず、第 2 号議案において、当日「修正案」を提出せざるを得ない事態になり、皆さまには多大なご迷惑をおかけして、本当に申し訳ございませんでした。今後、このようなことのないように十分に確認しながら、団体運営を行ってまいります。

当日は、すべての議案が承認され、2015 年度の事業が本格的にスタートいたしました。

お手元にある議案書の（案）の文字をお消してください。



冒頭で挨拶をされる側垣理事長



今回の進行は事務局の津高。隣は長谷事務局長

以下に、総会当日の進行概要をご報告します。

### (1) 理事長挨拶（挨拶概要）

「みなさんこんにちは。今日は第 14 回定時総会にご出席いただきありがとうございます。先ほどは、子どもの権利条約に関して、浜田進士さんから貴重なお話を伺いました。

私は最近、大阪の釜ヶ崎に住む路上生活者の支援を 25 年以上続けてこられたカトリック司祭の本田哲郎さんにインタビューする機会がありました。詳しくは全社協が発行している『月間福祉』

6月号に掲載されています。毛布や食事を提供したりするなかで、前日に毛布を渡した人がやって来て「兄ちゃん、ありがとう。助かったわ。そやけど、あんな姿は娘には見せられへんわな」と言われたり、また、結核で何度も救急病院に運ばれたことのある日雇い労働者の人からは「マザー・テレサって知ってる？『死を待つ人々の家』をつくるとか、さすがノーベル賞をもらうほど偉い人やな。そやけど、もっとほかのことも考えてくれたらな。わしらがこんなところで生活せんでええように」と言われたことがあるそうです。このような話から、私たちがやってあげたり、分けてあげるといった与える側にいることで満足することは違うと気づかれました。そして、もう一度聖書を勉強し直して、「愛」ということばの意味を考えられました。江戸時代の聖書では、愛（アガペー）は「お大切」と訳されていたそうで、ケセン語の訳では、「大事（であじ）」と訳されました。人間が大事（であじ）にされるように、他人をであじにしてください、それが愛するということだと気付かれたそうです。

私たちは大切にされていない子どもたちと関わっていますが、その子どもが大切にされたときに、人も大切にしようという気持ちになると思います。

今後も CAP の活動は、一人ひとりの子どもを大切にすることをめざして活動していけたらと思いますし、そのために皆さんと協力し、もっと多くの人に CAP を伝えていきたいと思います。

それから、資生堂社会福祉事業団が発行している『世界の児童と母性』の 4 月号は、「養育周辺の厚み、子どもをみつめる豊かなまなざし」というテーマで特集が組まれました。社会的養護の周辺にいる人たちについて掲載しています。私も執筆を依頼されたので、にじいろ CAP の事業を取材するなどして、「学校と施設と地域をつなぐ CAP の役割」というテーマで書いています。

さて、私のあいさつはここまでで、これから、総会の議事に移るにあたって、皆さんにお詫びしなくてはならないことがあります。次年度の予算について、昨日、議案書に数字の間違いがあることに気付きました。議案書は事前にお送りしており、すでに多くのグループから書面表決「承認」もいただいております。しかし、ミスのあるまま承認していただくことはできませんので、今朝、臨時理事会を開き、修正案を提出することにいたしました。この修正案を皆さんにご審議いただきたいと思っております。資料は今から配ります。詳細は、第 2 号議案のところでお伝えします。今回の件は事務局だけでなく、理事会の責任でもあります。本当に申し訳ございませんでした。後ほどの議案審議をどうぞよろしくお願いいたします。



審議の前に、参加正会員のご紹介



役員の皆さん

## (2) 審議結果

### 【第 1 号議案 2014 年度特定非営利活動に係る事業報告および会計報告について】

議案書に沿って、また特記事項をパワーポイントで説明しながら、事業報告および会計報告は、長谷事務局長が説明しました。その後、能島監事より、「監査の結果、当法人の業務および財産に関する不正の行為または定款に違反する重大な事実はないものと認める」と報告がありました。

採決の結果、全会一致で、第 1 号議案は承認されました。

内訳) 承認する 80 (出席 30・表決委任 25・書面表決 25)

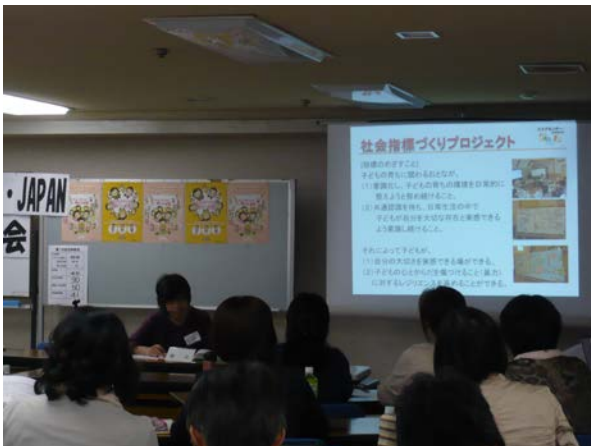
### 【第 2 号議案 2015 年度特定非営利活動に係る事業計画案および活動予算案について】

事業計画案は議案書に沿って長谷事務局長が説明し、活動予算案は、理事会が当日提出した修正案に沿って長谷事務局長が説明しました。その後、質疑応答が行われました。

採決の際に、議長より修正案における書面表決のうち、「承認」および「否決」については、修正案に関する表決ではないため、「否決」の扱いになることが説明されました。[補足：書面表決のうり、議長委任については、そのまま「議長委任」として当日の修正案に関する議長の判断に任せられます。]

第 2 号議案は承認されました。

内訳) 承認する 55 (出席 30・表決委任 25)



事業報告はパワーポイントで説明しました。



議案審議終了後の意見交換の時間

## II. 当日の質疑応答の概要

### 【第 2 号議案 2015 年度特定非営利活動に係る事業計画案および活動予算案について】

質問 1・2 中学生暴力防止プログラムトレーナー養成の日数は、現在のプログラムと養成講座に参加する必要があるということは、4 日間ということですか。

回答 1・2 はい、議案書 p. 12 にあるように、現在 J-CAPTA が実施している中学生暴力防止プログラム講座 (2 日間) と、トレーナー養成講座 (2 日間) の計 4 日間の参加となります。

さらに、補足説明として、中学生暴力防止プログラムトレーナー養成を受けることができる人はベーシックトレーナーの資格を持っている方、それに準ずる方が対象となります。今回のトレーナー養成は、トレーニングセンターである CCJ が候補となる方をお願いして、CCJ から派遣するという形を取ろうと思っています。複数名で担当していただけるようトレーナー集団をつくるという基本姿勢は他のトレーナー養成と変わりません。

質問 3 CCJ がトレーナー養成のために派遣するというのは、その費用は CCJ が負担するということですか。

回答 3 予算総額がわかっていないので、トレーナー養成受講者が全額負担することはないということしか言えません。講座参加への移動時間、また中学生暴力防止プログラム講座実施（2016 年度）に向けた準備についてご協力いただける方をお願いしたいと思っています。

質問 4 議案書 p.9 にある「トークタイム研修-教職員が CAP は役立つ！と思うトークタイムをするために」は、必須トークタイム研修とは違うものですか。

回答 4 はい、必須研修とは違う内容のものです。

### Ⅲ. ふりかえり

当日出席正会員に、アンケートをお願いしたところ、17 の団体正会員にご提出いただきました。ご協力をありがとうございました。いただいたご意見は、今後の総会運営に反映してまいります。なお、会員からのアンケート内容は、ホームページ「正会員のページ」にアップしておりますので、併せてお読みください。当日の振り返りでも複数ご意見いただいたパワーポイントでの議案説明については、一部修正して、ホームページにアップしますので、当日参加されなかった正会員の皆さまもぜひご覧ください。以下に、事務局のふりかえりをご報告します。

#### 〈事前〉

**議案書等の作成・発送：** ほぼ事前のスケジュール通りに準備し、発送することができた。しかし、議案書の修正が 2 か所出ることとなってしまった。1 か所は正会員の方からご指摘いただき、事前にメールマガジンにて修正をお知らせした。もう 1 か所は総会前日に発見し、修正議案の提出を招く事態となった。事務局として確認が不十分であったと反省しており、今後、このようなことのないように十分に確認しながら、議案書の作成を行いたい。

#### 〈総会当日〉

##### **運営：**

- ・総会前には参加された正会員の方のご紹介を行っているが、参加しておられない会員も含め、全国ネットワークであることを実感していただけるような場づくりの工夫を今後行っていきたい。
- ・昨年に続き、事業報告と会計報告はパワーポイントを使い、視覚的な説明を行い、会員の皆さんからも評価をいただいた。次年度以降、議案説明の方法について、さらに工夫・検討を行い、参加された皆さんにとってわかりやすい説明となるように検討していきたい。

**表決：** ボランティアの方にお手伝いいただき、スムーズに進めることができた。

##### **〈その他〉**

- ・意見交換の時間はおおむね好評だった。年に一度、全国の団体・個人の正会員の方が一堂に会する機会を参加者にとってより有意義なものにするために、今後も意見交換や交流の場の設定について、工夫と十分な準備をしていきたい。また、当日いただいたご意見や振り返りに書かれたご意見を理事会でも検討していきたい。

以 上